

## 飼育員の仕事すごい！ もぐらんぴあで飼育体験教室

もぐらんぴあ（山崎毅館長）では6月9日から、飼育体験教室が開かれています。初日の9日は、中屋敷侔也君（久慈小5年）と稲田泰成君（同）が参加。エサづくりやトンネル水槽などへのエサやり、水槽の掃除などを体験しました。2人は普段できない体験を通して、「飼育員はすごい」と、仕事に感心している様子でした。山崎館長は「こういったイベントを通して、もぐらんぴあにどんどん親しんでもらいたい」と話していました。



タコにエサをあげる児童たち

## 久慈港を花でいっぱい 市民が参加して久慈港に植栽

市内の建設業者などによる「久慈港イメージアップ事業」が6月9日、市内の小中学生や家族連れなど約200人が参加して、もぐらんぴあ周辺で行われました。用意された花は、サルビア、ダリアなど約500株。参加した親子たちは、手ほどきを受けながら、丁寧な手付きで花を植えていました。大向太清君（侍浜小1年）は「ここを通る人たちに“わぁ～、きれい！”って言ってほしい」と願いを込めていました。



きれいに育てと願いを込めます

## 山根のフキ食べてね 山根中でフキ処理作業

山根中学校（藤田俊男校長、生徒11人）では6月11～12日、PTAなどと協力して、フキ処理作業を行いました。活動は今年で27年目。収穫したフキはべっぴん湯に販売し、収益金の1割はユニセフに寄付、残りは生徒会活動費に充てられます。中村桃子さん（3年）は「人数は少ないけど、山根だからできることだから、やりがいがある」と話していました。



手頃な大きさにそろえます

- ▶国内トップクラスの演奏者たちとひざを交えて受けた演奏指導。生徒たちにとって貴重な体験になったようです
- ▼ソロ演奏の久慈3等陸曹は本市の久慈高校出身。後輩たちの目の前で、美しい音色を響かせました



## 相手の立場になって考えて 平山小でキャップハンディ講習



声をかけることの大切さを学びました

平山小学校（佐藤範久校長、児童101人）の6年生11人が6月4日、キャップハンディ体験を行いました。この体験は、同小が4年前から行っているもの。誰もが安心して暮らせるように、相手の立場に立って物事を考えられるようにしようというねらいがあります。

この日は久慈市社会福祉協議会の職員2人を講師に招いて、車いすや目隠しをして校内を歩く体験を行いました。同協議会の長内将宏主事は「大事なのは声を掛けてあげること。相手の立場になって考えて」と強調していました。

6年生は7日から修学旅行で盛岡市へ向かい、この日の学習を生かして、盛岡駅で体験を行いました。

## 練習して成績残します 大川目中にテニスコートを贈呈

大川目中学校（菊池忠雄校長、生徒87人）で6月14日、地域の方々がボランティアで整備したテニスコートの贈呈式が行われました。

整備したのは、前PTA会長の外里淳一さんが経営する外里建設や、宮城建設、藤森測量設計の小倉利之さん、地域の方々など。従来2面だったコート約2週間かけて5面に拡大しました。贈呈式には外里さんや村田親夫PTA会長が出席。外里さんが「みんなのために整備したことを忘れず、有効に使って」と、生徒会長の坂本涼君（3年）に目録を手渡しました。「地域の方が整備したコートでたくさん練習し、良い成績を残したい」と生徒たちから謝辞が送られました。



大切に使うことが恩返し—と決意

## 国内随一の実力に触れる 陸上自衛隊中央音楽隊で凱旋ソロ

陸上自衛隊中央音楽隊（菅原茂隊長）による演奏会が5月28日、アンバーホールで開催されました。同音楽隊は昭和26年に発足。国賓の歓迎式典やオリンピックで演奏するなど国内トップクラスの音楽隊です。

演奏会の前には、久慈高、久慈東高、久慈中の吹奏楽部に対する演奏指導が約2時間に渡って行われました。パーカッション担当の廣崎綾香さん（久慈東高2年）、高無愛さん（同）は「新しい練習方法を教わった。わかりやすく楽しかった」と充実感をにじませていました。

演奏会では、本市出身の久慈明広3等陸曹によるアルトサクソソロ「ソング・フォー・ユー」が演奏されました。約1,200人と満席の状態となった観客席は、圧倒的な音量と美しい音色に酔いしれ、盛大な拍手を送り続けていました。

## シーズン前に浜を清掃 アンデス電気久慈工場が清掃活動

アンデス電気久慈工場（竹駒英昭工場長）では6月16日、社員約50人が参加して舟渡海水浴場周辺の清掃活動を行いました。この活動は、同社が8年前から行っているもので、海水浴シーズンを前に、観光スポットである舟渡海水浴場をきれいにしよう—という目的で行われました。この日は、趣旨に賛同し、市職員約10人も参加しました。

清掃が始まると、空き缶や発泡スチロールの容器などの生活ごみや海草や流木などでごみ袋はあっという間にいっぱいになっていました。同社員の藤原秀輝さんは「大勢で清掃すると、すぐにきれいになって、やっても気持ちが良い。海水浴シーズンには気持ちよく遊んでもらいたい」と話していました。



約1時間で海岸はきれいになりました